

2013年度 第2回 Y&I 報告書

『秋の周防大島&岩国』平成 25 年 11 月 17 日（日）開催

山口の秋を楽しんでもらうことが、この企画のねらいの一つでした。そこで、周防大島へみかん狩りに、岩国へ紅葉を見に行きました。留学生 20 名を含む総勢 36 名もの学生が参加してくれました。

みかん狩りでは、それぞれが自由にみかんをもぎ取って食べました。「見て！このみかん大きい！」とか、「どれがいいかな〜？」という声や、持ち帰り用の網にぎゅうぎゅうにみかんを詰める留学生の姿があり、みかん狩りの醍醐味を体験してもらえたと思います。また農園の方にどんなみかんがおいしいのか聞いたり、みかん栽培のお話を聞かせていただいたりして、学生のみならず地域の方とも交流ができました。

周防大島の道の駅でのお昼休憩では、瀬戸内海で捕れた海産物を使った定食や、大島産の農産物を使ったお土産があり、買い物を楽しんでいる様子をちらちら見かけました。特に牛肉コロッケが人気だったようです（大島名産のものかはわかりませんが…）。また、島ということで海を見ながら友達と会話を交わし、食事を取っている学生もいました。

そして最後に、岩国で散策兼紅葉狩り。錦帯橋に着いてまもなく、河原で川に石投げをする学生もいれば、錦帯橋をまっすぐ進んでいく学生もいたり。橋を渡ったところに、100 数種類ものソフトクリームが売られているお店があり、ほとんどの学生がそこで行列を作っていました。わさび、しょうゆ、納豆といった日本らしい味もあれば、カレー、ハバネロ、にんにく、ラーメンといったもの、さらにはクレオパトラの涙という、しょっぱそうな味もありました。ロープウェイで岩国城まで上がり、さらにお城の天守閣まで上りました。今年は紅葉が遅いようで、たくさんの「赤」や「黄」は見つかりませんが、錦帯橋周辺のきれいな景色を一望でき、写真を撮っている学生もたくさんいました。錦帯橋周辺の観光地には色々な建物やお店があり、探検するような気持ちで観光することができました。

この企画を通して、留学生と日本人学生との交流のきっかけを提供できればと考えていましたが、みんな仲良しの友達と誘い合って参加している人が多いためか、バスで友達同士と一緒に座ったりして、同じ言葉の友達と過ごす時間の方が多かったように感じました。外国語に自信が無い、話してみたいけど何を話してよいかわからない、という葛藤があったのでしょうか。やはり、言葉の壁というものは大きな障害のようです。ただ、積極的に話しかけることは出来なくても、景色や食べ物をきっかけに一言でも会話が生まれている場面もあり、積極的に交流するために一歩踏み出す機会を提供することができたと実感しました。また、たくさんのお土産を抱えている学生の姿を見ることもでき、旅を満喫してもらえたと感じる事もできました。これからも、このような機会を企画したり利用したりして、留学生との交流を深めて行きたいと思います。

